

～測定結果を正しく比較・解釈し、開発判断につなげるポイント～

レオロジーデータの読み方と開発・設計への活かし方

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/2605111>

LIVE配信／アーカイブ

◆日時：2026年05月25日（月） 10:30～16:30

【アーカイブ配信：5/26～6/2】

◆会場：WEBセミナー（オンライン開催）

◆聴講料：1名につき55,000円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円（税込）

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で55,000円（税込））

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：ティー・エイ・インスツルメント・ジャパン(株) アプリケーション課 ケミスト 高野 雅嘉 氏

【講座の趣旨】

レオロジーは、物質の変形や流動を通じて“材料の声”を読み解く科学であり、原材料から最終製品まで、あらゆる開発・設計プロセスに活用できる強力な評価手法です。しかしその一方で、専門書には数式が多く数層が高いと感じられがちであり、測定データの妥当性や解釈に迷うケースも少なくありません。

本講演では、レオロジーを難解な理論としてではなく、材料のふるまいを理解し開発を加速させるための“実務的ツール”として捉えることを重視します。数式の使用は最小限にとどめ、メーカー技術者として蓄積してきたノウハウや、失敗例を含む多数の事例を交えて、データが示す意味をどのように読み取り、設計判断へつなげるかを具体的に紹介します。レオロジーを武器として使いこなすための視点を提示し、中核レオロジストの早期育成に資する内容を目指します。

【プログラム】

1. レオロジー測定の基本とデータ理解のポイント

- 1-1 基本の3点「応力・ひずみ・せん断速度」
・粘度と弾性率を求める算数
- 1-2 粘度計とレオメータの違い測定目的に応じた使い分け
- 1-3 フローカーブ（流動曲線）と静的・動的粘弾性測定の理解
- 1-4 レオメータの仕組みと治具の使い分け

2. フローカーブ（流動曲線）の読み方と材料挙動の理解

- 2-1 身近な物質の粘度挙動
・食品から医薬品、塗料など
- 2-2 降伏値の求め方
・マヨネーズはどの位の力で動き出す？
- 2-3 チクソトロピックループとステップフロー

3. 熱硬化性樹脂のレオロジー評価

- 3-1 典型的な硬化挙動における最低溶融粘度とゲル化点
- 3-2 プロセスウインドウの考え方
・熱履歴と反応速度など

4. 分散系材料のレオロジー評価

- 4-1 代表的なエマルジョンの挙動
・安定性評価、構造回復過程など
- 4-2 代表的なサスペンションの挙動
・分散性、物理架橋の寄与など

5. ゲル材料のレオロジー評価

- 5-1 身近なゲル材料の粘弾性挙動
・食感評価とゼリーを滑らせない工夫
- 5-2 ゲルのレオロジー的分類

6. 粘着剤のレオロジー評価

- 6-1 設計と物性評価の考え方
- 6-2 温度依存性測定のコツと事例

7. 熱可塑性樹脂のレオロジー評価

- 7-1 平均分子量、分子量分布と周波数依存性の関係
- 7-2 Cox-Merz則とは
・安定した溶融樹脂評価のために

8. 多様なアクセサリと測定技術の紹介

- ・UV硬化
- ・界面レオロジー
- ・マスターカーブなど

「レオロジー」セミナー申込書

■LIVE

■アーカイブ

※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい

会社名			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-mail
①		
②		

会員登録（無料）

Eメール郵送

※ご希望の案内方法を選択してください。複数選択可。

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。弊社で内容を確認後、受領のご連絡を差し上げます。受講用URLは後日お送りいたします。

なお、お申し込み後のキャンセルは原則として承っておりません。ご都合により出席できない場合は、代理の方にご出席いただくようお願いいたします。代理の方も見つからない場合は、（土日祝日を除く）8日前までにご連絡いただければキャンセルを承ります。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>